

GW10 連休の資金繰りについて

今年のGWは、天皇陛下が御譲位する4月30日と皇太子殿下が御即位して改元が行われる5月1日に加え、2日も休日となりますので、4月27日を含めて10連休(5月6日まで)となります。

現時点において自社の資金繰りなどについてしっかりと予測、確認をしておくことが重要です。この10連休については、金融庁などから情報発信がされていますので、是非とも目を通しておいてください。

<金融庁> <https://bit.ly/2O2mEqi>
<日本公庫> <https://bit.ly/2HfRuv1>
<商工中金> <https://bit.ly/2Hf4XmF>
<全銀協> <https://bit.ly/2Ch1eB8>
※全銀協パンフ <https://bit.ly/2Hgqn2Q>

「金融庁」においては、金融業界に対して、「中小企業に対して窓口等の営業予定やこれを踏まえた資金計画の必要性等を周知徹底するほか、決済期日の変更等による一時的な資金需要には原則として応じるなど適切・柔軟に対応すること。さらに、営業現場の第一線まで浸透させ、組織全体として、積極的に取り組むこと」などの要請がされています。

「日本公庫」においては、4月30日から5月2日の3日間、「休日電話相談」を実施することです。また、「10連休に伴い、資金繰り対策の必要が生じる可能性のある中小企業・小規模事業者や農林漁業者等の皆さまからのご融資やご返済に関する相談に、政策金融機関として迅速かつきめ細かな対応を行ってまいります」とのリリースがされています。

GWに具体的に何か起きるのか？！

今年の10連休中は銀行法の定める休業日となります。連休前後は金融機関／窓口は大変混雑することが予想されますので、その点を考慮しながら、各社、対応策を講じてください。

また、連休中にはATMは利用できますが、設置場所によっては、一部の端末で現金が足りなくなり一時的に稼働を停止するATMが出てくる可能性があります。連休中の現金支出が多額に必要な可能

性のある業種については、必要額を想定して準備するようにしておきましょう。

また、連休中の振込業務等に関しては、全国銀行資金決済ネットワークが休日等に提供する「モアタイムシステム(<https://bit.ly/2XSQS3s>)」に接続する金融機関同士であれば、原則、振込の即時入金が可能です。取引先金融機関に必ず確認してください。できれば、連休中の決済は避けるのがベストです。

次に口座引落とし等に関してですが、連休中に口座振替がある場合は、原則として引落日は翌営業日の5月7日の扱いとなりますので、口座に必要な額を準備しておきましょう。また、融資返済日が10連休中に設定されている企業においては、契約内容により、前営業日(4月26日)扱いまたは翌営業日(5月7日)扱いとなりますので注意しましょう。

必要に応じて「日繰り表」の作成を!!

このように10連休によって出金日と入金日が通常の予定とは異なる可能性があるでしょうから、くれぐれも資金繰りについては、必要に応じて「日繰り表」などを作成して確認しておきましょう。

10連休の間の給与や経費、リース料、カード代金なども、原則「4月26日」に処理する必要があるでしょう。また連休中に振り出された小切手の呈示期間は短くなるそうですから注意してください。

それと、税金や公共料金には納付については、連休前後は相当混雑しそうですので早めの手続きをしましょう。また、従業員の源泉徴収・特別徴収なども同様です。税金については支障が出そうな企業においては、必ず顧問税理士さんに確認してください。

このようにGWの10連休は、企業や業種によっては冷や冷やものです！繰り返しになりますが、日繰り表などを作成してくれ触れも資金ショートしないように注意してください。また金融機関への融資相談・申請は早め早めに対応するようにしてください。

また、取引先金融機関の10連休の対応については、金融機関の担当者及び公式HPなどで必ず確認するようにして下さい。